親子のしあわせ応援プロジェクト 指標

令和2年3月

このプロジェクトの施策の実施状況や取組みの効果等を検証・評価し、更なる施策展開につなげていくために、以下のとおり指標を設定し、基本理念・めざす姿の実現に向け取り組んで まいります。

1. 基本理念・めざす姿の目標(目標年度:令和5年度)

指標			目指す方向性	市数值備考
	一般世帯	74.0%	A	※ 1
将来の夢や、やりたいこと、なりたいものがある子供の割合	ひとり親世帯	70.2%		
	生活保護世帯	67.9%		

※1 平成30年「船橋市の子供のいる世帯の生活状況等に関する調査」による

2. 基本方針における重点施策と目指す方向性(市独自指標)

基本方針	重点施策	指標		市数値	目指す方向性	市数值備考
はぐくむ (1)子供への学びの支援		学習支援事業の参加者数		234人	1	【H30年度実績:地域福祉課】
		学習支援事業の高等学校等合格率		100.0%	\rightarrow	【□SU牛皮天視 · 地以他性床】
ささえる	(4)保護者への就労・生活 支援	母子・父子自立支援プログラム策定者のうち就職した人の割合		65.9%	1	【H30年度実績:児童家庭課】
	(5)情報提供・相談体制の 強化	(子供に関する施策などの) 情報の入手手段がわからない	一般世帯	3.9%	1	<u>*</u> 1
			ひとり親世帯	8.1%	1	
			生活保護世帯	7.3%	1	
		一心のさなく他談できる他士がいる	一般世帯	83.7%	1	
			ひとり親世帯	70.3%	1	% 1
			生活保護世帯	65.5%	1	

※1 平成30年「船橋市の子供のいる世帯の生活状況等に関する調査」による

3. 国大綱の指標と船橋市の状況及び目指す方向性

関連する 基本方針	番号			国数值※2	市数値	目指す方向性	市数值備考
	1	生活保護世帯に属する子供の高等学校等進学率		93.7%	91.9%	1	【H31.4.1:生活支援課】※3
はぐくむ	2	生活保護世帯に属する子供の高等学校等中退率	4.1%	3.7%	Ţ	【H30年度:生活支援課】※3	
	3	生活保護世帯に属する子供の大学等進学率		36.0%	36.4%	<u> </u>	【H31.4.1:生活支援課】※3
	4		中学校卒業後	95.8%	-	<u> </u>	
	5	¬児童養護施設の子供の進学率 	高等学校等卒業後	30.8%	-	-	
	6	ひとり親家庭の子供の就園率(保育所・幼稚園等)		81.7%	90.7%	<u> </u>	【H28.8.1:児童家庭課】
	7		中学校卒業後	95.9%	98.4%	<u> </u>	【H28.8.1:児童家庭課】
	8	-ひとり親家庭の子供の進学率	高等学校等卒業後	58.5%	_		
	9		 	1.4%	-	_	
	10			48,594人	-	_	
	16		小学校	47.2%	実施	 継続	
	17	-新入学児童生徒学用品費等の入学前支給の実施状況	中学校	56.8%	実施	継続	
	18		大学	_	-	_	
	19		短期大学	_	_	_	
	20	高等教育の修学支援新制度の利用者数	高等専門学校	_	_	_	
	21	-	専門学校	_	_	_	
ささえる	22		ひとり親世帯	電気料金14.8% ガス料金17.2% 水道料金13.8%	電気料金10.2% ガス料金9.8% 水道料金9.8%	1	* 1
	23	- 電気、ガス、水道料金の未払い経験	子供がある全世帯	電気料金5.3% ガス料金6.2% 水道料金5.3%	電気料金1.8% ガス料金2.1% 水道料金2.1%	1	※1 ※市数値は、調査世帯区分「一般世帯」 結果を用いている。
	24	- 食料又は衣服が買えない経験	ひとり親世帯	食料34.9% 衣服39.7%	食料23.8% 衣服30.3%	1	※ 1
	25	及行う人におり、別はおり、行生例の	子供がある全世帯	食料16.9% 衣服20.9%	食料5.5% 衣服8.2%	Ţ	※1 ※市数値は、調査世帯区分「一般世帯」の 結果を用いている。
	28	一ひとり親家庭の親の就業率	母子世帯	80.8%	84.3%	1	% 1
	29	- いこり税多庭の税の税未卒	父子世帯	88.1%	80.7%	1	%1 %3
	30	なしは朝皇院の朝の正相の贈号 従業号の割入	母子世帯	44.4%	38.7%	1	% 1
	31	-ひとり親家庭の親の正規の職員・従業員の割合	父子世帯	69.4%	60.9%	1	%1 %3
	32	ス供の分田売	国民生活基礎調査	13.9%	F 0.0%	1	W4.W0
	33	- 子供の貧困率 	全国消費実態調査	7.9%	5.82%		%1 %3
	34	ひしい物世界の分 円さ	国民生活基礎調査	50.8%	40.4%	↓	%1 %3
	35	ひとり親世帯の貧困率	全国消費実態調査	47.7%	43.1%		
	36	カーロの中央のこと差を書いているのでは、ジャン・マーナー	母子世帯	42.9%	50.1%	1	% 1
	37	ひとり親家庭のうち養育費についての取決めをしている割合	父子世帯	20.8%	21.4%	<u> </u>	%1 %3
	38	-ひとり親家庭で養育費を受け取っていない子供の割合	母子世帯	69.8%	64.4%	1	※1 ※市数値は、「養育費を受け取っていな と回答した親の割合
	39		父子世帯	90.2%	78.6%	<u> </u>	※1※3 ※市数値は、「養育費を受け取っていな と回答した親の割合
	11	- スクールソーシャルワーカーによる対応実績のある学校の割合	小学校	50.9%	55.6%	Ţ	【H30年度実績:総合教育センター】
	12		中学校	58.4%	33.3%	T	【H30年度実績:総合教育センター】
	13	 -スクールカウンセラーの配置率	小学校	67.6%	100.0%	\rightarrow	
	14		中学校	89.0%	100.0%	\rightarrow	
つなげる	15	就学援助制度に関する周知状況 (入学時及び毎年度の進級時に学校で就学援助制度の書類を配布している市町村の割合)		65.6%	実施	継続	
7417 8	26	フルがもて出世の出世呂でおんでしたいというとはことして中へ	ひとり親世帯	重要な事柄の相談8.9% いざという時のお金の 援助25.9%	相談相手がいない 25.8%	1	%1 %3
	27	- 子供がある世帯の世帯員で頼れる人がいないと答えた人の割合	等価可処分所得第 I ~ Ⅲ十分位	重要な事柄の相談7.2% いざという時のお金の 援助20.4%	-	-	

※1 平成30年1船橋市の子供のいる世帯の生活状況等に関する調査」による ※2 国数値は、令和元年11月に改正された「子供の貧困対策に関する大綱」に掲載されている「子供の貧困に関する指標」による ※3 調査における設問内容の相違や対象数が少ない点において、国の数値とは単純に比較できないものとなっている